



市民健康ガイド

不妊治療費の助成



がん検診の申し込みが始まります(4月16日から)

	一般不妊治療費助成	特定不妊治療費助成
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 法律上の夫婦である。 申請日において夫婦のいずれかが1年以上赤平市内に住民登録がある。 医療保険に加入している。 他の市町村で同一の治療に関して給付を受けていない。 <p>※すべてに該当する方が対象となります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北海道特定不妊治療費助成事業の助成決定を受けている。 申請日において夫婦のいずれかが1年以上赤平市内に住民登録がある。 他の市町村で同一の治療に関して給付を受けていない。 <p>※すべてに該当する方が対象となります。</p>
助成内容	<ul style="list-style-type: none"> 保険適用の不妊治療、検査などの自己負担分。 保険適用外の不妊治療(体外受精、顕微授精は除く)の自己負担分。 申請に関する証明のため医療機関などが発行する文書料。 <p>※4月1日以降に受けた検査、治療分。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 体外受精、顕微授精(北海道特定不妊治療費助成事業の対象となる治療)
助成額	<ul style="list-style-type: none"> 治療に要した自己負担の合計額。 <p>1年度(毎年4月1日から翌年3月31日まで)につき5万円が上限。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北海道特定不妊治療費助成事業で助成金額を控除した後の自己負担額(上限) <ul style="list-style-type: none"> 採卵を伴う治療…15万円/回(初回に限り30万円が上限) 伴わない治療など…7万5千円/回 男性不妊治療を行ったとき(上限) <ul style="list-style-type: none"> 男性不妊治療…上記のほか15万円/回(初回に限り30万円が上限)
助成期間	<p>一般不妊治療を開始した月の属する年度から連続する5年度までが限度。ただし、妻の年齢が43歳となる日の属する年度の3月31日まで。</p>	<p>北海道特定不妊治療費助成事業と同じ。</p>
申請期間	<p>原則、1年度内に受けた治療をまとめて、治療を受けた日の属する年度内に申請してください(2月と3月の治療分は、4月末日まで申請を受け付けます)。</p>	<p>1回の治療が終わり、北海道の助成決定がありましたら、治療を終了した日の年度内に申請してください(2月と3月の治療分は、4月末日まで申請を受け付けます)。</p>
必要書類	<ul style="list-style-type: none"> 赤平市一般不妊治療費助成事業申請書 一般不妊治療医療機関受診等証明書 検査・治療・調剤の領収書 住民票謄本(発行から3カ月以内のもの) 戸籍謄本(発行から3カ月以内のもの、住民票謄本で戸籍上の夫婦であることが証明される場合は不要) 印鑑と対象夫婦いずれかの口座 	<ul style="list-style-type: none"> 赤平市特定不妊治療費助成事業申請書 道事業の助成決定の指令書の写し 道事業の申請時に提出した特定不妊治療費助成事業受診等証明書の写し 道事業の申請時に提出した治療及び調剤に係る領収書の写し 道事業の申請時に提出した住民票と戸籍謄本の写し 印鑑と夫婦いずれかの口座

※北海道特定不妊治療費助成事業の詳細は北海道のホームページをご覧ください。

がん検診の目的は?

検診は症状のない人が対象です。ターゲットとする病気を発見するために行われるもので、多くのがんを見つけることだけが、がん検診の目的ではありません。

「胃がん」「肺がん」「大腸がん」「乳がん」「子宮頸がん」の5種類は、科学的な方法による検診を受けることで早期に発見でき、さらに治療を行うことでがんでの死亡率が低下することが証明されています。

国が推奨する科学的根拠に基づいたがん検診

種類	方法
胃がん検診	胃バリウムまたは胃内視鏡検査
肺がん検診	胸部レントゲン及び喀痰検査
大腸がん検診	便潜血検査
乳がん検診	乳房レントゲン(マンモグラフィ)
子宮頸がん検診	子宮頸部の細胞診及び内診

精密検査が必要と言われたら…

がん検診を受けて精密検査が必要(要精検)と判定されたときは「がんの疑いがある」可能性があります。より詳しい検査をして、本当にがんがあるかどうかを調べる必要があります。

赤平市の胃・肺・乳・子宮頸がんの精密検査受診率は90%以上ですが、大腸がんでは73.2%と、他に比べて低い傾向にあります(平成30年度)。

「症状がない」「忙しい」といった理由で精密検査を受けないと、がんを放置してしまう可能性があります。必ず検査を受けましょう。

健康 →

← 病気

検診

赤平市の検診は…

- がん検診と特定健診を一緒に受けることができます。

集団検診とバスツアー検診は同じ日にいろいろな検診を受けることができます。お忙しい方でも1~2時間ですべての検診が受けられます。
- 土日に検診を受けることができます。

検診日を土日に設定し、平日に休めない方でも受診しやすくなっています。
- 安い料金で受けられます。

市から最大5,610円の助成があり、がん検診はそれぞれ500円で受診できます。

今月号の折り込みチラシをご覧ください。
事前にお申し込みください。
(4月16日(木)8時45分から受付開始)

元気がみつかる場所
「ほじカフェ」

誰もが気軽に参加できるコミュニティカフェです。おいしいコーヒーを飲みながら健康について楽しくお話しませんか。

日時	4月のにじカフェはお休みです。
次回	5月14日(木) 14:00~15:00
場所	あかびら市立病院 かあさん食堂「ぼらん亭」